

(1) 大学の設置理念

人類の持続的発展に貢献する知と技の創造と実践を目指し、『万人のための先端科学技術の教育研究』、『自ら情報発信する国際的研究者・技術者の育成』、『時代を切り拓く科学技術に関する創造的活動、その実践を通しての社会との連携』を理念とし、豊かで安全な社会の継続的な発展を支えるために、情報分野、理工分野はもとより情報と理工の融合による革新的学際分野の創造を図り、社会における新しい価値の創出に貢献するため、以下の人材を育成する。

情報・理工学領域において、幅広い教養を授け、グローバルな視野、人間性・国際性ならびに倫理観を涵養し、科学的思考能力と論理的コミュニケーション能力を持ち、高度コミュニケーション社会の持続的な発展に貢献する専門技術者を養成する。柔軟で体系的なプログラムにより、幅広い視野を持ち、実践的な専門知識と革新的創造力を身に付け、変動する産業界や国際社会でリーダーとして主体性を持って活躍する逞しい人材を社会に輩出する。

(2) 教員養成に対する理念・構想

「情報領域」および「理工学領域」における専門知識とは、情報学の基礎的学問である数学と、理工学の基礎的学問である物理、化学および生化学や分子生物学、電磁気学などであるが、これらの科目は本学の学部教育の中心となっている。

学内では教員組織として「数学部会」「自然科学部会」「情報部会」を擁し、基礎教育としての数学、物理学、化学、情報学を徹底した少人数制の必修科目として教育する教員組織を持っている。

こうした基礎科目を基盤として先端的科学技術を身に付け、さらには研究室での卒業研究をとおして国際的な幅広い視野をもち、工学的技による実践的な専門的知識をもつ教員養成を可能としている。

数学、物理、化学などの学問が、この社会の中で、さらには来たるべき新しい時代にどのように役立つかを考えることのできるのが工学の知識をもつ人材であり、そのような社会に貢献できる教員を養成することを理念として掲げている。

学生は全ての類において各類・課程で設定する「教科に関する科目」と「教職に関する科目」を所定の単位を取得すれば卒業と同時に中学校・高等学校1種免許状が取得できるように構想している。